

家庭学習の習慣を身に付けるために

「習う」から「学ぶ」へ

学力を身に付けるには、学校の勉強だけでなく家庭学習が大切です。

小学校までは、「授業で習う」ことが学習の中心だったと思いますが、中学校では授業でわからなかったことや自分に足りないことを、「自ら学ぶ」という学習スタイルが変わってきます。

まず、一時間一時間の授業を真剣に受けることが大切です。そのうえで家庭学習を計画的に行い、習慣化すれば、必ず学習が定着していきます。そして、そのことが学力の向上につながります。

学んだことを忘れないようにするためには、なるべく早いうちに復習することが効果的です。そして、授業をよりよく理解するためには、予習をすることです。

中学校では、与えられた課題や宿題はもちろんのこと、自ら学ぶ家庭学習の確立が重要です。そのためには、以下のことを御家庭でも話し合い、心がけていくようにしてください。

1, 望ましい生活習慣を身に付ける

朝起きて、夜寝るまでの生活の流れ(日課)が安定していることが重要です。
“早寝・早起き・朝ごはん”の習慣の確立が学力向上につながります。

2, 持ち物は前日にそろえる

持ち物をそろえておくことで安心します。安心できると学校生活や授業が楽しみになります。
これはとても重要なことです。

学習道具を忘れてしまうと、授業がよくわからなくなります。集中できなくなります。
事前に必要な持ち物をそろえる習慣を身に付けさせてください。

3, 家庭学習のルールを親子で話し合って決める

- ① 学習時間を決める。(学年+1時間が目安です)
- ② 時刻を決めて取り組む。(毎日決まった時間に)
- ③ ~しながらの勉強(テレビを見ながらなど...)をしない。集中して取り組む。
- ④ スマートフォンやゲームなどのルールを決める。
- ⑤ 計画を立てる。(宿題・予習・復習など)

※例として

6	7	8				16	18	19	20	21	22
起床	朝食		学	校	部活	学習	夕食	自由 時間	学習	就寝	

4, 提出物をきちんと出す

中学校では、問題集やワークなど、「～までに提出」と期限が決められた課題が多くあります。学校に提出するプリントもあります。提出物や課題を計画的に進め、期限までに出す習慣を身に付けてください。また、学校日より学年日よりには必ず目を通し、御家庭での会話を大切にしてください。

5, 各教科の学習の仕方を親子で確認する

テストの結果だけでなく、それまでの取組みを評価しましょう。
一日の生活の流れ(日課)の中で、具体的にどのように努力するのかを、明らかにさせることが大切です。そして、目標を持たせることです。

ある時は努力を認め励まし、ある時は自分の課題に気付かせるなどの話し合いによって、望ましい習慣にまで定着させることが大切です。

6, 読書習慣を身に付ける

読書をすることで、全ての学習を支える読解力がつきます。また、さまざまな世界に触れることができ、考え方を学ぶ機会になります。御家庭でも本の内容などを話題にしていきましょう。

★ 薬師中学校では、年度初めに「学習の手引き」を配布して指導をしています。上記はその中の一部です。

「学習の手引き」には、それぞれの教科についてどのように学習していったらよいか(予習・復習、家庭学習の仕方・授業の受け方・ノートの取り方など)、試験の受け方などについて書かれています。御家庭でも学習をしていく上で参考にしてください。

また、各教科の始めなどで、授業の受け方など、ポイントが説明されますので、それぞれの先生からの説明をしっかりと聞いて、授業を受けていきましょう。